

都師会会報

公益社団法人 東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会

2026年3月
38号

令和8年度
スキルアップセミナー
受講者募集中！

1.会長挨拶



関東ブロック DMAT 訓練に、東京都鍼灸師会さんと共に参加いたしました。今回このような形で参加できたのは、これまで災害時にあはき師の先輩方が積み重ねてこられた活動の成果によるものだと感じております。

また、東京都内のあはき関連の公益団体と連携して活動できたことも、大変意義深い機会となりました。

なお、新年会にお招きいただいた大田区鍼灸あん摩マッサージ指圧師会様は、昨年「大田区鍼灸師会」と「(一社)大田区鍼灸マッサージ師会」が合併され、行政との窓口であった大田区三療師協議会を解散のうえ、「(一社)大田区鍼灸あん摩マッサージ指圧師会」として新たな体制を築かれました。

近年、当会としては行政・政治・他団体との関わりが以前より少なくなっていた面もありますが、今後はその部分をしっかりと強化していきたいと考えております。

ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひお力添えを賜れますと幸いです。

公益社団法人 東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会
会長 成田卓志

2.活動報告

【2025年9月12日（金）国際鍼灸専門学校2年生 社会あはき学「業団について」】

1. 自己紹介：故芹沢勝助先生の元での臨床研修、トレーナー活動、様々な先生方との出会い、開業してから現在(27年間)に至るまでの経緯。
2. 様々な業団について（公益社団法人、学会等）
3. 業団の活動について
4. 東京都の公益社団法人（主に都師会の活動）
5. 墨田区はり・灸・あん摩マッサージ指圧師会（区議との意見交換会、テニス大会ボランティア等）

終了後のアンケートまとめ（太字多数意見）

- ① 専門学校に入学した動機を教えてください

家族が同業。東洋医学に興味ある。国家資格だから。学生時代のスポーツを通じ鍼を受けた為。
長く働きたい。あはきの資格会得できる。今の会社でボディメンテナンス部門を作るため。

- ② 業団について理解できましたか？

できた。概略は理解した。

- ③ 在学中に知りたいこと、やりたい勉強は？

実技、美容、解剖学、経絡治療、筋肉の触診、不定愁訴、腰痛治療、経営学、緩和ケア

- ④ 学校以外の勉強又はセミナー等参加していますか？

していない(半数)、している7名

⑤ 開業したいですか？又はどんな場で働きたいですか？

したい(半数)、訪問、トレーナー

⑥ 今日の話聞いて、ご意見、ご要望をお願い致します

貴重な話を聞いて良かった(半数)

学会と業団の違いを理解した

セミナーに参加したい

トレーナーの話が参考になった

国、都、区の領域の違いについて知りたい

女性としての開業を知れて良かった

業団に興味が出てきた

具体的な開業準備や就業について卒業生の話を知りたい

*その後1名の方が入会されました。昨年と同様、卒業生の話に要望されておりますのでそのような機会を作れるよう努力していきます。



理事 松永公子

【令和7年墨田区民体育祭「庭球大会」はり・灸・マッサージ体験施術ボランティア録】

○主催：(公社)東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会

墨田区はり・灸・あん摩マッサージ指圧師会

○場所：錦糸町テニスコート(墨田区錦糸4-15-1)テニスコート脇

○9/27(土) 使用ベッド、施術道具、用具室に搬入：松永公子(都師会、墨師会)

○9/28(日) 7:30~18:30

施術者：坂本大輔(墨師会) 湯澤俊紀(墨師会) 竹田のぞみ(墨師会) 松永公子

種目：8:00 女子ダブルス 11:30 男子シングルス 15:00 男子シングルス 18:00 男子シングルス

来所者：女性15名、男性14名、計29名(はり6・マッサージ25)

○10/12(日) 7:30~18:30

施術者：坂本大輔(墨師会) 唐下亮(都師会) 下條隆宏(都師会) 松永公子

種目：8:00 女子ダブルス 11:30 男子シングルス 14:40 男子シングルス 16:00 男子ダブルス

来所者：女性22名、男性17名、計39名(はり7・マッサージ39)



○今回からベッドを2台にしたことで多少の窮屈さはありませんでしたが、待ち時間を減らし、多くの方に施術させて頂きました。参加者からの評判も良く次回以降、墨田区庭球協会から活動費の補助を出していただく事になりました。マッサージを希望する方が多いですがリピーターの方は、はりも受けられるようになってきました。

理事 松永公子

【第 24 回東洋療法推進大会 in 石川に参加して】

令和 7 年 9 月 28 日から 29 日の 2 日間にわたり、石川県金沢市の金沢東急ホテルにおいて「第 24 回東洋療法推進大会 in 石川」が開催され、全国各地から多数の会員が参集した。本大会は「ささえあい つながり 共に生きる！」をテーマに掲げ、能登半島地震からの復興途上にある石川県での開催ということもあり、災害支援活動や地域医療の在り方について多くの示唆を得る機会となった。



初日は開会式に続き、県民公開講座として災害支援に関するシンポジウムおよび特別講演が行われた。令和 6 年能登半島地震における災害支援鍼灸マッサージ活動について、DSAM や地元師会の連携による具体的な活動報告がなされ、災害発生時における迅速な対応体制の整備や、日頃からの関係構築の重要性が強調された。地域医療との連携や、医療チームの一員としての役割を果たすためには、平時からの準備と意識の共有が不可欠であることを改めて認識させられた。

続いて行われた特別講演では、女性の健康分野における新たな取り組みとして、フェムテックの活用と伝統的医療技術との融合についての提言がなされた。近年、女性特有の健康課題に対する社会的関心が高まる中で、鍼灸マッサージ分野が果たす役割の可能性について多角的な視点からの示唆があり、今後の施術分野の拡大や新たなニーズへの対応について考える契機となった。

また、保険関連の講演では、療養費制度に関する今後の動向や料金改定に向けた考え方についての説明があり、制度を取り巻く環境の変化に対応していくためには、施術者一人ひとりが制度の理解を深め、適正な取扱いを継続していくことの重要性が示された。制度改正は施術者の業務に直結する事項であることから、日常業務においても常に最新情報に留意していく必要性を感じた。

2 日目には、将来ビジョンや法制に関するシンポジウムが行われた。将来ビジョンに関する討議では、会員数の減少という全国的な課題が共有され、若年層への働きかけや業界の魅力発信の必要性について具体的な方策が示された。特に、SNS や動画などの情報発信手段の活用や、若手会員同士の交流機会の創出など、これまで以上に柔軟な取り組みが求められていることを感じた。

さらに、広告ガイドラインおよび無免許問題に関するシンポジウムでは、関係機関との連携の重要性とともに、業界としての信頼性を維持していくためには、法令遵守を徹底し、自らの姿勢を正していくことが不可欠であるとの指摘があった。無免許施術や不適切な広告の問題は、業界全体の信頼に関わる重要な課題であり、各施術者が自覚を持って対応していく必要があると強く感じた。

本大会を通じて、災害支援、制度対応、将来ビジョンなど、多岐にわたる課題に対して全国の仲間が共通の認識を持ち、それぞれの地域での取り組みにつなげていくことの重要性を再認識することができた。また、各地の先生方との交流を通じて得られた情報や意見交換は、日常業務では得難い貴重な機会であり、業界の連携の強さを実感する場ともなった。

理事 唐下 亮

【令和7年度第2回東京都委託施術者講習会「頸肩部の筋の触察と鍼通電療法」報告書】

開催概要

本会は、令和7年度第2回東京都委託施術者講習会として、視覚障がい者を中心に、鍼灸あん摩マッサージ指圧の技術向上および知識の深化を目的として開催した。本年度は「頸肩部の筋の触察と鍼通電療法」をテーマに掲げ、特に実際の触察体験を重視した実技中心の構成とした。

- 日時：2025年9月14日（日）14：00～17：10
- 会場：ワイム貸会議室神田8A
- 講師：筑波大学理療科教員養成施設 徳竹忠司 先生
- 演題：「頸肩部の筋の触察と鍼通電療法」
- 参加者数：計69名（現地参加25名、Web参加44名）



実施内容

当日は、開会挨拶に続き、徳竹先生による講演（前半：座学、後半：実技）が行われた。前半の座学では、鍼通電療法の歴史的背景や操作方法、施術時の留意点について解説があり、後半は、複数の筋を対象に、刺入方法や通電による筋収縮の確認を実際に体験する実技が行われた。参加者は終始熱心に耳を傾け、講師の実演に見入っていた。また、質疑応答では多くの質問が寄せられ、活発な意見交換の場となった。閉会に際しては北村理事より総括が述べられ、次年度への期待が示された。

参加者の反応

多くの参加者から「分かりやすく、実践に直結する内容であった」との評価が寄せられた。以下に代表的な感想を抜粋する。

「今日のお話を聞いたことにより、今までよりも一歩進んだ説明ができそうです。後半の実技では、狙った筋だけが動く様子を自らの手で体感できたことは、貴重な経験となりました。特に印象的だったのは、希望者が触察する際に講師の徳竹先生がまさに手取り足取り丁寧に導いてくださる姿でした。日頃の教室でも生徒から厚く信頼されている様子がかがえ、温かみのある指導力に感銘を受けました。私は、あま指のみのため、鍼の領域についてまとまった時間で学ぶ機会は限られていますが、そうした中で、都師会の講習会に参加し、業界内に存在する技術や知見に直接触れることができたことは大変良い経験でした。施術に活かすのみならず、業界外の方々に向けてあはきについて伝える際にも、大きな糧となると実感しています。」



課題・今後の改善点

一方で、今回の参加者は健常者が中心であり、視覚障がい者の参加率が低かった。今後は、障がい者層への参加促進を図るため、広報方法の多様化などを検討する必要がある。

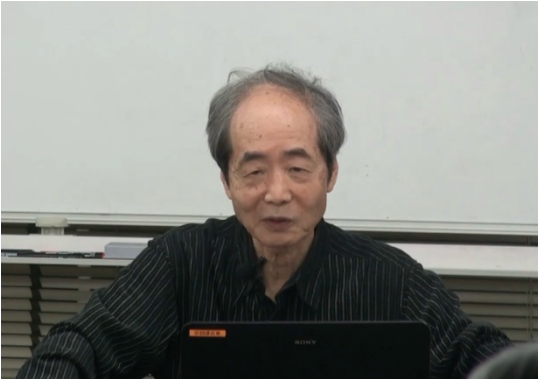
まとめ

本講習会は、参加者から高い評価を得て、当初の目的を十分に達成することができた。今後も継続的に開催し、より幅広い層に向けて学びの場を提供することで、対象者の知識および技術のさらなる向上を促し、ひいては患者の健康づくりに一層寄与できるものと考えている。

担当：都師会視覚障害関連局（北村、松本）

【令和7年度第3回東京都委託施術者講習会「『黄帝内経』と安藤昌益の医学」】

互いを生かすボトムアップ型の生命観へ ～講演「『黄帝内経』と安藤昌益の医学」を聴いて



講師の松田先生によれば、『黄帝内経』は不幸な書物で、宇宙論的、哲学的医書でありながら、日本の鍼灸界では、鍼灸技術を学ぶつまみ食いのような扱いをされている。江戸時代の安藤昌益の医書『自然真営道』もまた不運な運命を辿り、漢方、鍼灸界で話題になったことはほとんどない。今回の講義では、『黄帝内経』と安藤昌益の宇宙論を照らし合わせ、地球文明の危機の中で、あはき師が患者さんと共にどう生き、活動するかを考える素材を探りたいとの内容だった。

『黄帝内経』は、江戸初期には医学の柱とされたが、江戸時代の半ば、自国意識の高まりと共にその権威を全面的に否定する二人の医師が現れる。一人は、万病一毒説を唱えた古方派の巨頭、京都の吉益東洞。もう一人が、同じ頃に秋田の大館で生まれ、八戸に在住した安藤昌益である。

東洞は、『黄帝内経』の経絡説、陰陽論、五行論、天人合一論など概念的、宇宙論的な枠組みを「治療に役立たない」と切り捨て、医学は天文と関係がない治療技術だと主張した。昌益も『黄帝内経』を「人ヲ助クル書ニ非ズ、人ヲ殺ス敵書ナリ」と否定しながらも、『黄帝内経』の天人合一論などの枠組みは継承しつつ、それを貫く古代王朝の身分秩序と支配の論理を組み替え、江戸の社会を支えた農耕民の幸福を視点にすえた新たな宇宙論医学を創ろうとした。

昌益は「気」を「活真（かっしん）」と名づけている。中国医学の気は抽象的で機能的な概念なのに対して、いのちの熱い息吹を吹き込み、活性化させたのである。それは、縄文時代以来の日本的なアニミズムの感性とも、昭和の鍼灸師、柳谷素霊の「生体は静体ではない。活々として生きとし生きるものである」という認識とも繋がっているようだ。

昌益は天地でなく、転定（てんち）と表記している。転（てん）は天だが、定（ち）は海である。日本のような島国では、地平線を観るのは難しく、海の水平線の方が身近である。昌益は回転するものを転（てん）、静かで動かぬ定（ち）は海だとし、土はその間に存在するとしている。まさに海に浮かぶ日本列島の風情である。いのち：小宇宙としての人を育む環境；大宇宙の把握が中国と日本で違うことを昌益は理解していたのだ。

昌益は、「活真（気）」は進退二方向に動いて万物を産むと考えた。これは、『黄帝内経』の気の陽陰二方向への動きを言い替えたものに近いのだが、陰陽の関係にある陽尊陰卑、男尊女卑の差別観を外したくて、進退を使った。天の陽気と地の陰気が交合していのちが産まれるように、万物は相互に関係し合っていることについても、昌益は「互性」という一語にまとめて、「活真」の運動の核心的な働きとした。

昌益が考えた「万人直耕（ちよっこう）」という農耕にかんする独自の用語、「失（あやま）りを以て失りを糾す」や自然を「自（ひと）り然（す）る」と読ませるなどユニークな発想には、現代にも通じる深い社会思想的な意味が感じ取れる。

講演会のあとには、『黄帝内経』が君主を中心とする国家の官僚制度からいのちの構造を語るトップダウン型の生命観であるのに対して、昌益が反旗を翻し、民衆の家の囲炉裏がコメを煮炊きする活動、胃が中心となり食物を消化する活動を「活真」のひとりする自動運動ととらえるボトムアップ型の生命観に立つ医学に作り直そうとした熱情が心に残った。「男女」を「ひと」と読ませる平等観が彼の医学全体を貫いていることにも感動した。

いのちは細胞という自己決定しているものの総体であり、互いに密接に連携しあっていることを、私たちは生命科学として認識し始めているが、昌益は儒学、仏教、老荘、そして何よりも『黄帝内経』の宇宙論と

いう前近代の思想に身を浸すことで、同じ有機体論的ないのちの思想に目覚めた。

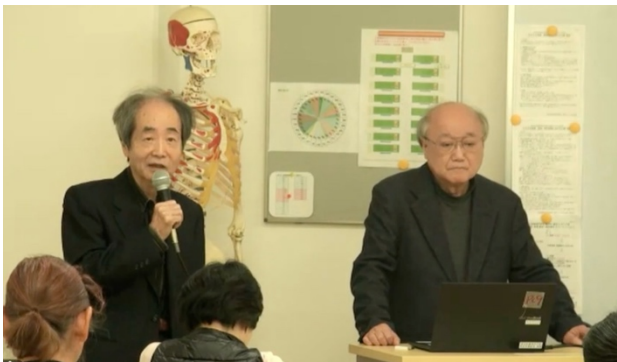
地球は大きなひとつの生命体であり、そこに生きるものすべてが互性によって繋がり、進退し、ひとりする存在であるのだから、戦うためのトップダウン型ではなく、繋がって互いを生かすボトムアップ型の生命観、つまり、支配ではなく、連携しつつ、補完することをベースとする生命観。ひとつの細胞、ひとりの生命が「活真」のままに自動運動：ひとりする、そこから私たちが共にしなやかに生きる術を探ってみたい。

私たち治療家は患者さんと相対する時、自ら考え判断し決定し、何をするかを決めなくてはならない、自感、自知、自行、まさにひとりする存在である。

生命体と生命体との気のやりとりとしてある伝統医療のために、日本列島での暮らしに沿わせて創りあげようとした昌益の生命論の試行のプロセスを、もっと共有しなければもったいないと思う。

鍼灸師 竹井智子

【令和7年度第4回東京都委託施術者講習会「私の診察診断治療の特徴とその実際」】



● 日時 令和7年11月16日(日) 14:00~17:10

● 講師 戸ヶ崎正男先生 日本伝統鍼灸学会相談役
蓬治療所代表

● 内容 「伝統鍼灸の最も重要な考え方は、病気を陰陽の失調とみる全体観、病の震源を捉える標本概念(『素問』標本病伝論篇ほか)、さらに体質(気質)を重視した見方である。以上を基に、身体の前後、左右、上下及び内外の不調和を整える全体治療として任督中心治療を作り、標本概

から時系列根本治療を作った。これらを含めて私の診察診断治療の特徴を述べ、その実際を行う。」

● 会場 東京呉竹医療専門学校 本館地下実技室 〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町16-12



【令和7年度第5回東京都委託施術者講習会「医療保険を使った鍼灸マッサージの基本」】

● 日時 令和7年11月23日(日) 14:00~17:10

● 講師 株式会社フレアス 神里子先生

● 内容 医療保険を使った鍼灸マッサージ(療養費)について、基礎からわかりやすく解説。「療養費とは何か?」「具体的にどのように行うのか?」「どうすれば取り扱えるのか?」「必要な書類や手続きは?」など、初めて学ぶ学生や先生の方にも理解しやすい内容でした。

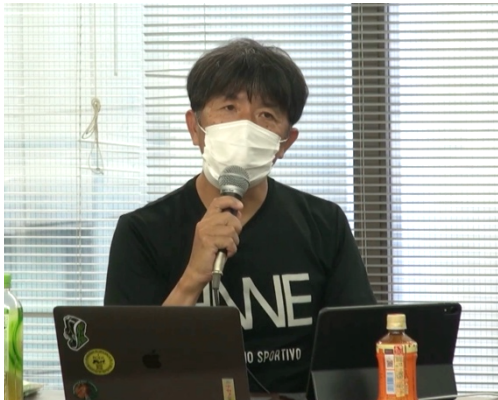


前半は座学、後半は接遇技術・施術技術に関する実技を行いました。



【令和 7 年度第 6 回東京都委託施術者講習会「世界のスポーツ現場における手技療法の傾向」】

12 月 21 日(日)令和 7 年度第 6 回東京都委託施術者講習会「世界のスポーツ現場における手技療法の傾向」に参加しました。



講師は昨年のこの時期にもご担当いただいた中野喜文先生です。前半の座学では、欧州におけるスポーツマッサージの歴史、戦前の日本におけるマッサージの勃興、戦後から現代に至る各国のスポーツマッサージの内容や制度の変遷のお話を聴くことができました。スポーツの現場で求められる高度な教育体制は、合理的な国家資格制度の整備とともに海外の方が先に進んでいるようで、大変羨ましく思いました。また、日本人の生活にあまり馴染みのない「他人から体にオイルを塗られる」という行動は、宗教的な慣習が背景にあるというお話も聴けて、とても合点が行きました。実技では今回の講

習会のために、海外のスポーツ医療で中心的な手段となっているスペインの INDIVA 社様から高周波治療器と、これから発売予定の水溶性オイル（こちらはおそらく他社様製）もご提供いただきました。Web 参加ではわかりにくいオイルの適量や、高周波治療器を使用中の受け手の身体の温度感など、現地参加ならではの体験をすることができました。実技の時間があっという間に過ぎるほど、ベッド 4 台で各参加者が熱心に手を動かしました。



前半の座学の中で、スポーツトレーナーの祖としての位置づけで紹介されたジャンネット・チムツリ氏が提唱した「マッサージャーの規範」の紹介がありました。この 6 つの規範は、私自身が免許取り立ての頃に先輩方から言われていたこととすべて一致していたので、人が人に触れて外側から力学的な刺激を与えるという業は、国も時代も違えど同じ道を辿るものなのだなと思いました。決して簡単ではない道のりで得る日本のあま指の技能が制度で頭打ちになることなく、十分な活用が検討される未来であることを願うばかりです。

都師会会員 嶋田 江利香



【第7回東京都委託施術者講習会「お灸のやり方-台座灸、八分灸、知熱灸、灸頭鍼、箱灸について-】

開催概要

本会は、第7回東京都委託施術者講習会として、鍼灸あん摩マッサージ指圧の技術向上および知識の深化を目的として開催した。本講習会は「お灸のやり方」をテーマに、理論と実技を通じて実践的な理解を深めることを目的とした。

開催詳細

日時：令和8年1月18日（日）14:00～17:10

会場：国際鍼灸専門学校 3F 実技室 2

講師：宮川浩也 先生

演題：「お灸のやり方」

参加者数：会場参加 27 人、Web 参加 35 人



実施内容

当日は、開会挨拶に続き、宮川先生による講演（前半：講義、後半：実技）が行われた。講義では、お灸の歴史や基礎理論、各種灸法（台座灸、八分灸、知熱灸、灸頭鍼、箱灸等）についての説明があり、実技ではそれぞれの施術方法について実演と体験を交えながら解説が行われた。参加者は終始熱心に受講し、実技においては積極的に体験する姿が見られた。また、質疑応答においても多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われた。

成果・参加者の反応

多くの参加者から高い評価が寄せられた。以下に代表的な感想を記載する。

「本日はオンラインで参加させていただきました。学校や治療院では半米粒大のお灸だったので、また違う灸を学ぶことができました。ありがとうございました。」

課題・今後の改善点

今回のお灸の実技では、多種多様なお灸を使い分け、方法や効果について参加者への解説が行われたが、時間が不足していた印象であった。

今後は、一つの灸の技術に絞り、応用編として開催することが望ましいと感じた。



まとめ

本講習会は、参加者から良好な評価を得て、所期の目的に沿った成果を得ることができた。

今後も継続的に開催し、学習機会の充実を図るとともに、対象者の知識および技術の向上につながるよう努めていく。

担当理事 松本 毅

【第19回「地域健康づくり指導者研修会」】

2026年3月7日（土）・8日（日）に開催された第19回「地域健康づくり指導者研修会」に参加しました。会場は四ツ谷の全鍼会館4階会議室で、1日目のみWebを併用したハイブリッド形式で実施されました。

本研修は、企業が高年齢労働者の労働災害防止のための設備改善や専門家による指導を受ける際、その経費の一部を補助する国の事業「エイジフレンドリー補助金」を活用した運動指導の実施に向け、必要な情報提供を中心とした内容です。

1日目は座学でした。冒頭で全鍼師会 事業改革委員会の狩野

委員長から、現在の日本社会が抱える健康課題や社会が求める役割の変化について、前事業改革委員の小川眞悟先生からは、あはき師にとっての新たな職域の創出、そして社会における重要な予防実践としての運動指導のあり方についてお話がありました。

続いて厚生労働省の専門官からの講義がありました。老健局から齋藤陽子様、労働基準局から吉岡健一様をお招きし、介護保険制度の今後と地域包括ケアの展望、エイジフレンドリー補助金の概要、さらに企業での実践事例についてご紹介いただきました。

1日目最後のパネルディスカッションでは、全日本鍼灸マッサージ師会の長嶺芳文会長、セイリン株式会社の北川裕康様、そして前半で講義を担当された労働基準局の吉岡健一様がパネリストとして再び登壇され、それぞれの立場から健康経営の実際について情報提供が行われました。特にセイリン社の取り組みでは、社内アンケートを通じて寄せられた社員の生の声に触れることができ、大変興味深い内容でした。

2日目は、長嶺会長による運動指導の企画から実施までを、座学とワークショップ形式で学びました。企画段階についての講義の中では、書類作成における要点が明確に示されました。

運動指導の実技では、あはき師にとっては馴染みの薄い「人前で話すこと」をまず体験する場となりました。3人1組で運動指導のイメージを共有した後、参加者一人ひとりが前に立ち、即興で約3分間の運動指導を実演しました。15名ほどの参加者それぞれの個性が光り、楽しく学びの多い時間となりました。

今回の研修会の意義として、参加者が学んだ内容を各都道府県師会へ持ち帰り、広めていくことも挙げられていました。企業が国の補助金を活用して運動指導イベントを実施できる事業が存在し、その補助対象となる「専門家等」として、あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師が明記されていることは、あはきへの信頼



と期待の表れであり、免許の新たな価値を示すものでもあります。

これまで興味はあったものの参加の機会を逃していた先生方には、ぜひ次回、お持ちの免許の可能性をさらに拡げるためにも参加されることをお勧めします。

都師会会員 嶋田 江利香

【令和7年度関東ブロック DMAT 訓練支援者支援鍼灸・あん摩マッサージ施術デモ】

実施期間：令和8年1月31日（土）10：00～17：00

7：00 搬入、設営開始

会場：東京都庁第一本庁舎 25階 111 会議室

目的：本デモンストレーションは以下を目的とする

1. 災害時における「あはき」の有効性を関係機関に理解していただく
2. 東京都の災害医療体制の中で「あはき」が関与できる体制構築を目指す
 - ・東京都および関東 DMAT との接点構築
3. 今後、継続的に関東 DMAT 訓練へ参加できる体制整備
 - ・1都6県および各都県 DMAT、厚労 DMAT との関係構築
 - ・次回候補地（埼玉県・栃木県）における県および県 DMAT との接点構築
 - ・DSAM を中心とした広域連携の推進

対象：関東ブロック DMAT 訓練に参加している従事者

内容：発災時の活動を想定し、JLCDAM で用いている記録表を基に

1. 施術希望者の身体状況の確認
2. 約15分の鍼灸・あん摩マッサージの施術（ケア）を行う



主催者：東京都保健医療局 医療政策部救急災害医療課

参加団体：

DMAT、DPAT、東京都医師会（JMAT）、東京都歯科医師会（JDAT）、東京都薬剤師会、東京都看護協会（災害支援ナース）、日本赤十字社東京都支部、AMAT（全日本病院医療支援班）、災害時透析医療ネットワーク、東京都JRAT（東京都災害リハビリテーション支援関連団体協議会）他

当日参加者（敬称略）：21名

DSAM（2名）；是元、仲嶋

東京都鍼灸師会（6名）；小林、野村、君島、佐々木、秋元、黒澤

東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会（6名）；成田、北村、今泉、唐下、鈴木、猪野

（公社）埼玉県鍼灸師会（2名）；今井、田澤

（一社）栃木県鍼灸師会（2名）；小堀、株木

（公社）埼玉県鍼灸マッサージ師会（1名）；秋山

（一社）栃木県鍼灸マッサージ師会（2名）；金子、野上

結果：

1. 受療者数 40名（総参加者数 約100名）

施術内訳 マッサージ 33名、鍼 24名、灸（太陽灸）4名

2. 受療者所属団体

DMAT、AMAT、厚労省、都職員、リエゾン、
DPAT、薬事コーディネーター、災害医療センター、
看護師 等

3. 施術後の NRS の変化

施術前を10としたときの施術後の変化を示す

10→0 4名 10→5 5名 10→10 0名

10→1 4名 10→6 4名

10→2 5名 10→7 2名 不明 3名

10→3 8名 10→8 1名

10→4 4名 10→9 0名



所感：

- ・ 設営については、DSAM や被災地での活動経験のあるメンバーを中心に、現場にあるものを利用しつつ手際よく設営できた。
- ・ 役割分担についても、休憩や混み具合に応じて臨機応変に対応できていた。
- ・ 事前アナウンスもあったが受療していただいた方から口コミで拡散され、様々な参加団体の方に受療していただいた。（全体の約4割の方に体験していただけた）
- ・ 短時間のケアの中でもしっかりとした結果が出せており、施術前の痛みや不快感が半分以下になった人が75%を占めている。
- ・ けが人やオーバードーズによる体調不良などは起きなかった。
- ・ 今回のデモンストレーションにより、多くの団体に災害時における「あはき」の有用性、支援者支援の必要性を理解していただけたのではないかと思います。
- ・ 今までの活動やJIMTEF 研修への積極的参加、研修のファシリテーターを務めるなど、積み重ねてきたことも功を奏し、DMAT だけでなく東京都を含め関係諸団体と顔の見える関係を構築することができた。
- ・ DSAM 是元代表の話によれば、懇親会でいただいた言葉は過去最高の評価だったと思うとのこと。これからはスタートではあるが、着実な前進であり大きな一歩となった。



5.今後の予定

東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会 主催

令和8年度スキルアップセミナー

メジヤトレ・スタイルのスポーツマッサージ実技

講師；河野智和 株式会社メジャー・トレーナーズ 技術顧問

期間 2026年7月～11月：毎月第2日曜日 13時～17時（途中10分程度休憩）

講座内容：スポーツマッサージの基本から応用までの手技、外傷/障害への対処法
施術者自身の障害予防



- | | | | |
|-----|-------|-----|-------------------------|
| 第1回 | 7/12 | (日) | *手技のコンセプト、基本手技、施術者の障害予防 |
| 第2回 | 8/9 | (日) | *下肢・骨盤帯 |
| 第3回 | 9/13 | (日) | *上肢・肩甲帯 |
| 第4回 | 10/11 | (日) | *頸部・体幹 |
| 第5回 | 11/8 | (日) | *手技の全体構成・総括 |

※会場；当会会館3階 会議室 東京都千代田区神田東松下町37-4

※講座受講方法；基本的には全回受講される方を優先致しますが、余裕があれば1講座のみも可能

※参加費；会員：6,800円/1回 会員学生：4,000円/1回 一般：9,600円/1回 一般学生：6,800円/1回

※鍼灸専門学校1年生以上であれば参加可能。

※この機会に入会される場合、会費は入会月からの月割りになり、受講料も会員の料金になります。

*服装、持ち物：薄手のバスタオル2枚。動きやすく、突起物、硬い縫い合わせ等が少ない服装。

*問合せ：都師会事務局 03-3252-8811(月水金 10:30-16:00)

*申込方法：①氏名②住所③電話番号④出身校又は在学校(学年)⑤あはき免許番号⑥会員、非会員、入会希望
⑦応募動機(400字程度)

*申込先：<https://forms.gle/rTyeTdVWVZ8AL1i46> (QRコードからも申込できます)

*受講料振込先：三菱UFJ銀行・神田駅前支店(普通) 0951679

公益社団法人 東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会



<講師紹介>

*河野智和；1968年 東京都生まれ、鍼師・灸師・あん摩マッサージ指圧
日本スポーツ協会 公認アスレティックトレーナー

*略歴； 1988年 株式会社メジャー・トレーナーズ所属

1991年 日本鍼灸理療専門学校 本科卒業

2023年 同社顧問

*活動 ・野球等スポーツ、舞台/撮影/音楽公演等でのトレーナー活動

・提携先との医療健康プログラム開発

・教育啓蒙プロジェクト等の企画運営

*教育関連 ・2015、2016 英国 Northern Institute of Massage にて卒後教育の実技講習

・2019～MLBオークランド・アスレティックス傘下3Aラスベガス・アビエーターズと提携、「メ
ジヤトレスタイル」のデモンストレーター

・2019 医道の日本社主催 第3回 あはき臨床「学び方伝え方」セミナー実技

・2025 台東区鍼灸マッサージ師会主催 東洋医療学術講習会 実技講習

*連載； 医道の日本社 2013年1月号～2017年12月号 全59回「メジャー・トレーナーズメソッド」

令和8年度 東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会 主催
スキルアップセミナー

鍼灸・マッサージで治療効果を上げるための 触診と遠隔点治療

講師：形井 秀一 先生（鍼灸あん摩マッサージ指圧師・医学博士）

つくば国際鍼灸研究所 所長・洞峰パーク鍼灸院 院長

筑波技術大学名誉教授・世界鍼灸学会連合会副会長・全日本鍼灸学会参与・

日本伝統鍼灸学会相談役・日本東洋医学会名誉会員・社会鍼灸学研究会代表



会場 都師会会館3階・会議室（東京都千代田区神田東松下町37-4）

【日程・内容】【初級・中級とも前半：講義（1.5時間）／後半：実技（1.5時間）受講生同士で行う。】

	日程	初級（触診）10:00～13:00 講師の指示のもと体表の触診 を行い、手を作る	中級（遠隔点治療）14:00～17:00 午前に学んだ触診で把握した反応部位を 遠隔点で変化させる
第1回	7/5（日）	背腰部	背腰部
第2回	8/2（日）	頸部・肩部	頸部・肩部
第3回	9/6（日）	腹部	腹部
第4回	10/4（日）	臀部・大腿部・下肢	臀部・大腿部・下肢
第5回	11/3（火、祝）	頭部・顔面部	頭部・顔面部
第6回	12/6（日）	灸について	灸施術の実際

【参加費】初級：会員 30,600 円（1回 5,100 円）／会員学生 18,000 円（1回 3,000 円）／

一般 43,200 円（1回 7,200 円）／一般学生 30,600 円（1回 5,100 円）

中級：会員 30,600 円／会員学生 18,000 円／一般 43,200 円／一般学生 30,000 円

【受講方法・注意】

- ・全6回受講できる方を優先
- ・初級のみ、定員に余裕がある場合は、単回受講可
- ・学生は2年生以上
- ・入会希望者は入会月から月割り、受講料は会員価格

【持ち物・服装】

- ・薄手のバスタオル2枚
 - ・腰背腹部、膝・肘から先が出やすい
ゆったりした服装
- ※実技用の鍼・灸道具は都師会で準備

【申込方法】「グーグルフォーム」からお願いいたします。

<https://forms.gle/xafqdCgMBRCzs3fF9>

【受講料振込先】

三菱UFJ銀行 神田駅前支店（普通）0951679

公益社団法人 東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会

【問合せ】

03-3252-8811（月火金 10:30～16:00）（担当理事 松永 090-4067-5983、松本）



【講師略歴】

1975年 東京農工大学卒業
1979年 東洋鍼灸専門学校卒業
1981年 筑波大学理療科教員養成施設卒業
1992年 筑波技術短期大学 助教授
2017年 筑波技術大学 名誉教授

【主な著書・監修】

『身体の声聴く』医道の日本社（1997）
『治療家の手のつくりかた』六然社（2001）
『ツボ単』NTS（2011）
『カラーアトラス取穴法 第3版』医歯薬出版（2012）
『イラストと写真で学ぶ逆子の鍼灸治療 第2版』医歯薬出版（2017）
『イラストと写真で学ぶむち打ち症の鍼灸治療』医歯薬出版（2019）

こんにちは 事務局です

事務局からのお知らせを復活します。

令和8年度会費の納入について

来年度4月以降の会費納入のお知らせを発送します。同梱の郵便振替票で納入をお願いします。全鍼師会会員の方は、全鍼師会の年会費を上乗せして納めてください。

なお、正会員の皆さんは、年3回の銀行口座振替をご利用いただけます。銀行口座に4か月分の残高があれば都度引落をいたします。手数料は都師会が負担いたします。ご希望の方は事務局までご相談ください。

会員向情報をメールでお知らせします

-メール受信確認のお願い-

講習会や運営からの情報はメールで迅速にお届けしています。入会時にメールアドレスを登録したのに届いていない場合は次の確認をお願いします。

- ①迷惑メールフォルダ
- ②登録メールアドレス
- ③受信設定

メールアドレスの変更をご希望あるいはご不明点等は、事務局までご連絡ください。円滑な情報共有のため、ご協力をお願いいたします。

住所、変わっていませんか？ 郵便物が戻ってきます

ご自宅・勤務先等、変更が生じたら、事務局まで連絡をお願いします。

登録の電話番号が繋がらず、メール登録もなく、事務局で連絡できないケースが増えています。また、ウェブ申込で郵送不要とされた場合でも郵便送付が発生する場合があります。

会報が届かない、引っ越した等のほか、入会の際に登録した情報に変更が生じた場合もご一報をお願いします。

都師会年次総会にご出席ください。

毎年5月末に総会が予定されています。

正会員の皆さんは、それぞれ議決権の資格がありますので、是非ご出席ください。

ご都合により欠席される場合は、期日までに議決権行使書の提出をお願いします。

総会の案内は5月上旬発送予定です。

令和8年度事務局 スケジュール 概要

4月	会費納入依頼通知 正会員会費口座引落
5月	総会
7-8月	免許保有証更新等手続
8月	正会員会費口座引落
12月	正会員会費口座引落



としかいちゃん

今のところ非公認マスコット
著作権は都師会に帰属します

事務局 武田
toshikai8811@ybb.ne.jp

R8(2026).3.6

公益社団法人 東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会
発行者 成田 卓志

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 37-4

TEL 03-3252-8811 FAX 03-3252-8813